



船橋市議会議員 (市民社会ネット)

浦田 秀夫 通信

2008年10月 第67号 事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350
議会報告版 自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019

子ども医療費助成 中学3年生まで拡大を

9月議会では、子ども医療費の助成拡大、放課後ルームの拡充などの子育て支援策、公民館利用の改善、新京成線踏切の改善対策について、一般質問で取り上げました。

また、市長からは学校校舎の耐震改修を促進する補正予算が提出され可決されました。昨年9月議会、今年の3月、6月議会で求めてきたもので、耐震改修を大きく前進させることになりました。

都内23区ではすでに実施

いま、若い世代は核家族化の中で悩みながらも、子どもの笑顔に励まされながら、仕事と子育てに懸命に取り組んでいます。子育ての大きな不安の一つに子どもの病気があります。

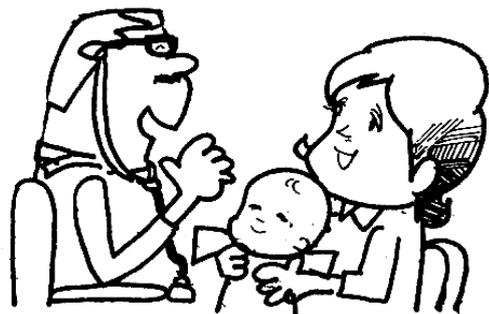
子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため重症化することも早く、病気の早期発見、早期治療を支える環境が非常に大切です。

船橋市では、乳幼児医療費助成を実施し、就学前まで助成していますが、子ども医療費助成制度の年齢拡大については、都内23区が中学卒業まで、県内では長生村が小学校3年生まで、習志野市では入院を対象に、小学校6年生まで拡大し、自己負担分(1回200円)も廃止しています。

子どもの医療費の心配をなくすことは、大きな子育て支援になります。

船橋市において、安心して子どもを産み育てることかできるよう、子ども医療費助成(乳幼児医療費助成)の対象年齢を中学校3年生まで拡大することを求めました。

最初に答弁に立った子育て支援部長は、「子ども医療費の助成は、重要な施策であることは認識しているが、多額の財政負担が想定されるので、近隣市の動向を見ながら慎重に検討したい」と答弁しました。



来年度予算で検討と市長答弁

再質問で、当面、入院対象に限定すれば中学3年生まで拡大しても約1億7千万円程度の費用、市の財政状況から見ても十分で実施できるとして、新年度から実施するよう求めました。

答弁に立った市長は「来年度予算組みに入る中で検討してみたい」と答弁しました。

請願署名運動を始めます

市長から前向きな答弁を引き出しましたが、来年度から実施されるよう、請願署名運動を始めます。市民の皆さんのご協力をお願いします。

子ども医療費の助成に必要な費用の試算

小学校6年生まで拡大した場合、入院対象1億2千万円、入院・通院対象7億7千万円。中学3年生まで拡大した場合、入院対象1億7千万円、入院・通院対象11億1千万円